

国宝高松塚古墳壁画及び国宝キトラ古墳壁画のメンテナンス等 について

国立文化財機構古墳壁画PT修復班（壁画担当）

○ 高松塚古墳壁画

1) 壁画の維持管理及び関連する資料の保存方法の検討に関して

① 壁画の状態確認

修理時に材料を追加した部分、あるいは新規クリーニング作業（紫外線照射、酵素処置等）を施した部分を中心に、修理後の状況について定期的に確認を行っている。今年度は8月、12月、2月を予定している。



写真1 状態確認箇所 北壁下部 充填



写真2 状態確認箇所 天井3 解体時 MC 噴霧



写真3 状態確認箇所 東男子 解体時 HPC 養生



写真4 状態確認箇所 東男子 充填補強

② 集中メンテナンス作業の状況確認及び打ち合わせ

今年度も従来と同様に一般公開後に予定している。

5月(終了)、8月(終了)、10月、1月

2) 壁画の修理作業に関する各種データ整理と報告書準備

- ・報告書の刊行の準備を進めている。昨年度に予定通り編集用原稿を作成し、目次立てが終了しており、今年度刊行予定である。

- ・資料の整理

関連資料についてリスト化と電子化を遂行しており、今年度も作業を進めている。また、写真資料については低温保存のための保管庫を導入し、運用を開始した。

○ キトラ古墳壁画

1) 再構成されなかった漆喰片を含む壁画の維持管理及び保存方法の検討

① 集中メンテナンス作業

今年度集中メンテナンス： 6月（終了）、8月、11月、2月

② 「辰」「巳」「申」「午」の保管方法に関する検討

「辰」「巳」「申」の安定化処置を随次、進めていく予定である。今年度は、保管されている漆喰片の状態確認と、強化処置を行う。本年度は、メチルセルロースによる強化処置とパラロイドB72による強化処置、また、裏打ちに用いるパラロイドB72のシートを作成予定である。また、「午」についても、今後の保管方法について検討を継続する。本件に関連して、美術史の専門家と中国における調査および研究交流会を予定している。

2) 壁画の修理作業に関する資料のアーカイブ化

修理や点検の作業に関する物理的な資料については、目録化し、現在、東文研保存修復資料室において保管中であり、適宜、スキャニング等を実施している。